

第1回環境マネジメントセミナー開催される

去る10月4日、(社)日本自転車協会会議室において、「企業経営者向け入門セミナーと認証取得企業の事例発表」と題して(財)自転車産業振興協会、(社)日本自転車協会、自転車・福祉機器懇談会の三団体共催による環境マネジメントセミナーが開催された。

参加された方々は、部品メーカー、完成車メーカー、業界関連団体など多業種にわたっており、環境ISOに対して、徐々に関心が高まりつつあることがうかがわれた。当日は、(社)日本自転車協会の山岡専務理事のあいさつに続き、以下のような演題で講演がなされた。

1.「経営者向け環境マネジメントシステム入門」

国際連合環境計画 国際環境技術センター 上級企画官
(財)地球環境センター 審議役 田村徹氏

2.「環境マネジメントシステムの構築と運用事例」

ナショナル自転車工業㈱ 取締役 工場長 目戸則夫氏
前半の入門セミナーでは、ISO14000sが国際規格

として発行されるに至った背景や経緯、企業にとっての必要性、構築方法、認証を取得するための要件などについて、具体的な事例をもとに大変わかり易く解説された。後半の事例発表では、審査を受けられたときの実際の資料を使用して、マネジメントシステム構築時の苦労話も交えながら、認証取得にあたって

の具体的な取り組み内容について、大変詳しく解説され臨場感あふれる講演であった。今回のセミナーを通して、環境ISOは時代の流れであり、業界にとって早急に着手すべき課題のひとつであることが、あらためて感じられた次第である。

なお10月7日には、日本自転車会館3号館7階会議室にて、平成11年度第1回製品アセスメントセミナー「循環型経済社会への対応は、いかにあるべきか」が開催された。演題は下記のとおりである。

1.「循環型経済システムの構築に向けて」

通商産業省環境立地局リサイクル推進課
通商産業技官 五嶋 俊一氏

日本の廃棄物、リサイクル対策の再構築、今後の課題と政策対応、個別分野毎の現状と課題について講演。

2.「環境マネジメントシステムの構築と運用事例」

ナショナル自転車工業㈱ 取締役 工場長 目戸則夫氏
大阪会場と同内容。

「環境マネジメントシステムの構築と運用事例」については企業の環境への取り組みのみならず企業全体の活性化への強い提言を含むものであり、当協会機関誌「内外自転車情報」誌に詳細掲載予定である。

